

青田知史町政報告

令和4年7月1日発行 第16号

令和4年第4回定例会（6月16、17日）

令和4年第4回定例会が開催されました。1日目は8人の議員による一般質問。2日目は条例の改正、補正予算などの10の議案について審議があり、全て可決されています。また、美瑛町土地開発公社・美瑛物産公社・美瑛町農業振興機構・丘のまちびえい活性化協会の経営状況についての報告等がありました。

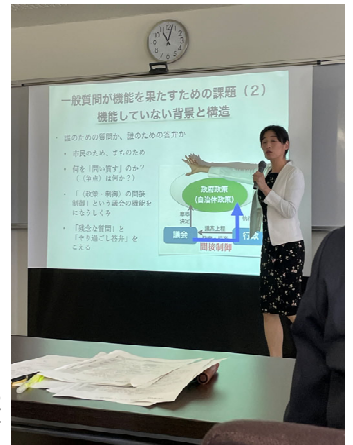
議員研究会（6月20日）

「質問力で高める議員力・議会力」をテーマに、法政大学の土山希実枝教授を講師に招き議員研究会を開催しました。

私は毎定例会に2～3の一般質問を自分自身のノルマとして位置付け、6月の定例会までに31の質問をしてきました。その質問をするために、参考にしてきたのが土山先生のオンライン研修や教科書です。

研究会では、第一部では講演と、第二部では私ともう1名の議員の「うまくいかなかった一般質問」を題材にした実践研修が行われました。

一般質問は、町政全般について質することができる議員の大切な仕事だと思っています。これからも町民の皆様の期待に応えることができるように、しっかりと取り組んでまいります。



第16号の内容

特集:町政を問う！

1、3つの一般質問

2、町長の答弁から

☆昼下がりのコラム

☆気になることば 「地域おこし協力隊」

☆次号の予告

町政に活力を！

まちづくりに希望を！

青田ともふみ

検索



QRコードでアクセス

◆特集 町政を問う！（令和4年第4回定例会）

1、3つの一般質問

6月の定例会では、以下の3点について一般質問を行いました。いずれの質問も、町の将来に議員としての責任を果たすため、町長の考えを質しました。

(1) 町独自の**物価高騰対策**をどう考えているか

- ① 交付額と経済支援対策予算の規模について。
- ② どのような経済支援策を検討しているか。

(2) **人口減少対策**の現状について

- ① 人口減少の問題点にどのように認識しているか。
- ② 東神楽、東川両町の人口減少対策に学ぶべき点があるとしたら何か。
- ③ 合計特殊出生率の展望と向上のための取り組みの必要性について

(3) **ゼロカーボン（脱炭素）**の取り組みについて

- ① 家庭や事業者の影響をどう考えるか。
- ② 自然環境の保全と再エネ発電施設の共生の考え方について。
- ③ 再エネ発電施設を規制する条例の必要性について。



2、町長の答弁から

(1) 町独自の**物価高騰対策**をどう考えているかの質問については、「青ちゃんのざっくり町政ニュース」にざっくりまとめていますが、ポイントは、次の手をいつどのように打つか、その際に基金を取り崩してもしっかりと効果のある経済対策を打てるかどうかだと思います。

私は全世帯の**6か月間水道料基本料金の減免**は必須だと考えています。あわせて、**マイナンバーカード取得者（申請者）に対しての町単独のポイント給付**（1万円程度）を、カード交付率向上の観点からも検討すべきだと思っています。

町長は、「**更なる経済対策や農業者に対する原材料費補助**などの支援、原油や物価高騰の影響は各家計、町内の各産業に及ぶことから、**状況や時期、国の支援策等を見極めたうえで対応を講じる**」と答弁しており、注視しています。

(2) これまで**人口減少対策**については、「人口減少の抑制を図るためには、人口置換水準の回復を図るよりも、転入と転出を均衡させていくことの方が効果的」だと対策の方向性を示していました（令和2年3月策定の「美瑛町人口ビジョン」）。しかし、社会増減（転入と転出の差）を均衡させたとしても、自然減（出生数と死亡数の差）に対して対策を講じないと、当然人口は減り続けます。

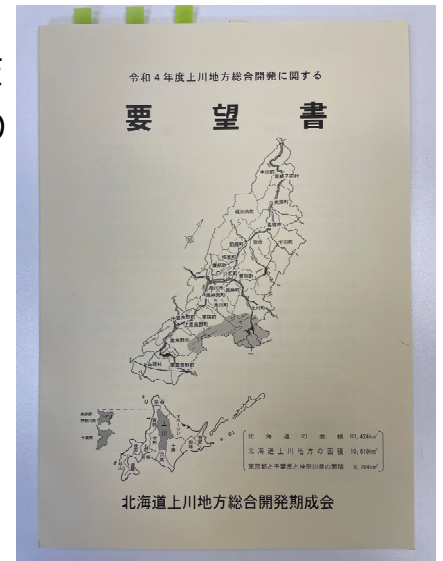
「人口1万人維持」を公約にしていた町長は、「若い人たちが安心して子どもを産み育ていけるよう、多面的な支援の充実を図る」と答弁しました。インパクトのある新たな支援も含め、今後に期待しています。

(3) 脱炭素の取り組みに対して町長は、「**主要課題の一つ**として位置付け、必要な施策に取り組む」と述べました。

しかし、4月に「**ゼロカーボンシティ宣言**」はしましたが、正確なデータはまだ把握できていないようです。取り組みとしては、ある民間機関のデータを参考に、CO2排出量10万8千トン、町内の森林等が吸収される量が8万9千トン、差し引き1万9千トンが実質排出量となり、この場合それをゼロにすることでゼロカーボンが達成します（数字が正しいかどうかは不明とのこと）。本町の約4万7千haの森林(面積)は大きな強みであり、**森林をいかに活用していくか**がゼロカーボンの鍵と言えます。

また、再質問で管内の首長らで構成される「北海道上川地方総合開発期成会」の要望についても確認しました。「地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の推進」に関し、本町は「再生可能エネルギーの開発・導入に関する支援や税制優遇措置の拡充」、「地中熱利用についての支援事業制度の拡充」の二つの事項について要望を出していますが、町長からは**具体的な想定がない**という答弁がありました。

庁内にプロジェクトチームも作られたようですが、まずはおおよその数字を根拠に、グランドデザイン（全体構想）を進める必要があるのではないのでしょうか？



昼下がりのコラム 「セコマの地域産品」

ざっくり町政ニュースの4月号で紹介した、地域おこし協力隊の小沼君。現在役場の農林課で頑張っています。彼の働きもあり、7月25日から美瑛選果さんの「ダイスミルク」や「焼きとうきび」などの5品目が、「地域産品」として道北圏と道央圏のセイコーマートで販売できることになりました（全ての店舗で販売されるものではありません）。

自治体が地方創生の取り組みを進めるためには、民間との連携が重要になっています。また、多くの自治体が関係人口の創出や獲得、拡大に取り組んでいますが、今後は関係人口の獲得競争が激化していくとも言われています。

関係人口拡大のためには、まずは多くの方に知っていただく必要があると思っています（関心人口）。その意味で、町の産品がセイコーマートの棚に並ぶようになることは、美瑛を知ってもらうためのチャンネルが増えることになります。

今後の更なる展開に期待をしています。



私も好きなダイスミルクと焼きとうきび

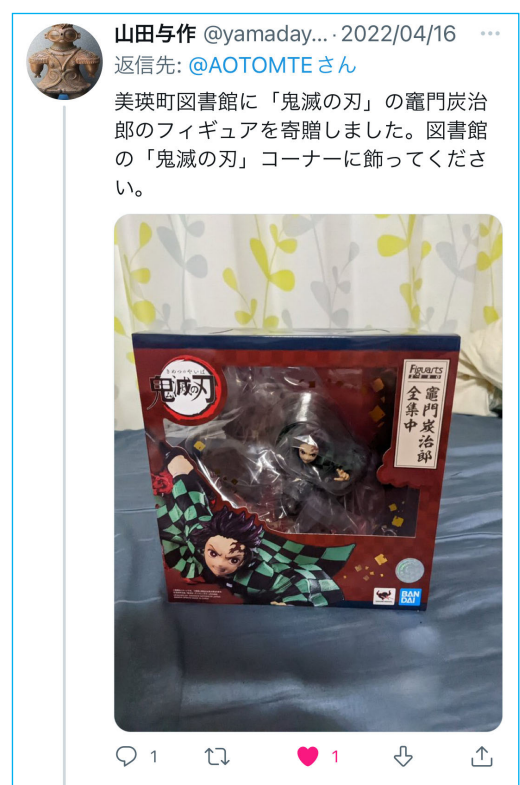
「山田与作さんありがとうございます！」

私はTwitter（ツイッター）をやっていますが、そこでお付き合いしている山田与作さん（アカウント名）という方がいます。お会いしたことはありませんが、奈良県奈良市にお住まいの方です。

3月末に、Twitter上で図書館にアメリカンコミック4冊を寄贈した、という書き込みを見つけたのが始まりでした。すぐに図書館にも行き、本を確認して私からも山田与作さんにお礼のメッセージをお送りしました。

その後も寄贈は続き、本だけでなくDVDやフィギュア等、これまで18回、67点の寄贈をいただいています。これらは図書館に展示、開架され好評のようです。ちなみに、アメリカンコミックと鬼滅の刃のフィギュア（右上の写真）だけでも5万円を超えるようです。

山田与作さんは、美瑛町図書館だけでなく、京都国際マンガミュージアムや北九州漫画ミュージアムなど、全国の漫画ミュージアムや図書館にも寄贈しているそうで、この世に自分が生きた証を残したいという思いもあるそうです。山田さんの思いを大切にして、そしてこれからも、皆様に喜ばれる図書館であって欲しいと思っています。



私宛に送られてきたメッセージ

☆☆☆ 次号の予告 ☆☆☆

今年は美瑛の火祭りも7月24日に開催されるようです。知り合いから声がかかり、私もたいまつを担ぎ手として初めて参加する予定です。もし見かけたら、ご声援のほどよろしくお願いします！7月は研修や所管事務調査などが予定されています。

8月号は、所管事務調査の様子を中心に、また秋に青田個人の議会報告会&フリートーク会を開催しようと構想中です。どんな会になるか分かりませんが、その考え方とご案内をさせていただきます。町政に関してのご意見等がありましたら、お気軽にご連絡ください。また、お知り合いで「町政報告」「ざっくり町政ニュース」を購読希望の方がいましたら、ぜひご紹介ください。今後ともよろしくお願いいたします。